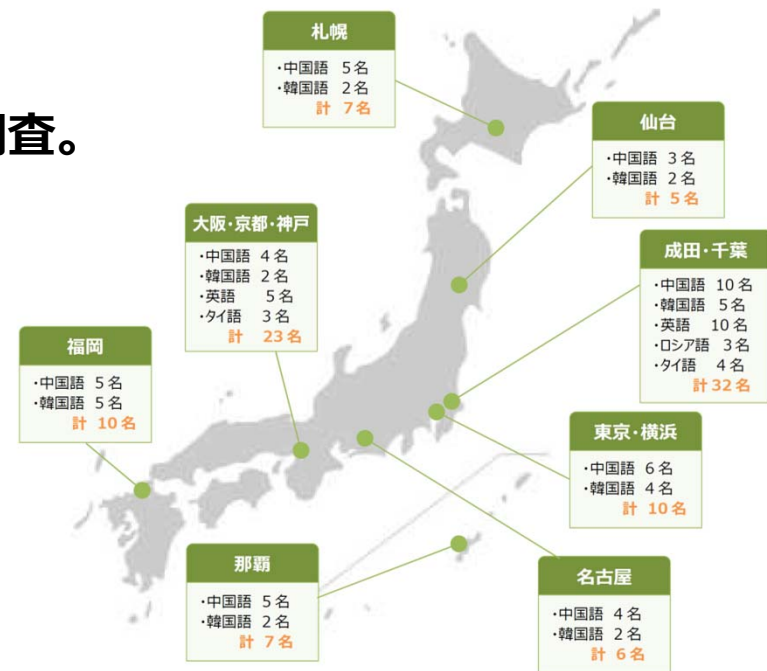


『訪日外国人消費状況調査』

訪日する外国人の動向や消費する金額などを調査。

訪日外国人消費状況調査

- 訪日外国人客の消費実態等を調査
- 訪日外国人客の消費実態等を把握し、観光行政の基礎資料に利用
- 日本を出国する訪日外国人客が調査対象
- 標本数は四半期ごとに総数6,600サンプル
- 調査員によるipadを利用した聞き取り調査
- 調査項目は、回答者の属性（国籍、性別、年齢等）、訪日目的、主な宿泊地、消費額など（※訪日旅行の満足度等の意識調査も実施）



空港・港

下記空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにて調査

新千歳空港、函館空港、仙台空港、新潟空港、東京国際空港（羽田空港）、成田国際空港、小松空港、富士山静岡空港、中部国際空港、関西国際空港、広島空港、関門（下関）港、高松空港、福岡空港、博多港、厳原港、鹿児島空港、那覇空港



実査

下記12言語対応のタブレット端末または紙調査票を用い、外国語を話せる調査員による聞き取り調査を実施。

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語

